

“こんなまちにしたい”をかたちに

～平野区の地域福祉アクションプランをつくりましょう～

区社協だより

ひらめ

〒547-0043 大阪市平野区平野東2丁目1番30号
平野区在宅サービスセンター
(ここにこそセンター)

☎06-6795-2525
FAX06-6795-2929

おたがいの
人権守って 明るい平野区



平野区人権啓発推進協議会

社会福祉法において、市町村が地域福祉計画を策定することが規定され、それに基づいて大阪府では、今年三月に「大阪市地域福祉計画」を策定しました。また、同時期に大阪市社会福祉協議会において「大阪府地域福祉活動計画」が策定されました。しかし、より身近な地域で実情にあった地域福祉を推進するしくみづくりが必要であることから、大阪府では、各区ごとに公私協働による行動計画（アクションプラン）を作ることとなり、今年度から、各区それぞれで、具体的な取り組みを進めています。

「アクションプラン」って何？

みんなで考える、よりよいまちづくりのための行動計画です。

区民をはじめ、地域に関わる人がみんなで、地域の課題を探り、その課題解決のために何が必要か、何ができるのかを考えます。そして、自分たちのまちをどんなまちにしたいかを思い描きながら、さまざまな意見や知恵や力を出し合って作る行動計画です。住みよいまちづくりのために、これから、何を目標に、何をしたいのかを具体的に示すものです。

どうやってつくる？

自分の住むまちを、こんなまちにしたいという将来像や日頃感じていること等を話し合う。

← まちの現状、特性、実施されている活動などを把握するとともに、意見を出し合って、まちの課題や必要と思われることを探る。

← 課題解決のために、自分たちができることを考え、その内容や方法を具体的に計画にする。

平成十七年度末完成予定。計画を実行にうつす。

平野区における取り組みの進行状況は…

- 平成16年6月 平野区役所と平野区社会福祉協議会の合同事務局を設置
- 同年 8 月 策定委員会設立準備会設置
- 同年11月 策定委員会設立(第1回策定委員会開催)
- 同年12月 作業部会発足(第1回作業部会開催)

■策定委員会とは
平野区地域福祉アクションプランの策定に関することを審議する機関です。保健・医療・福祉・教育関係の団体代表、学識経験者、公募による市民委員など、現在二十五名で組織されています。

■作業部会とは
広く区民の声を聞きながら、課題整理や調査研究、検討を重ね、徹底して議論することにより、具体的なプラン案を練りあげ、策定委員会に諮ります。プラン策定過程のあらゆる場面において、企画、実務を担当する部会であり、平野区在住または在勤で、関心のある方は、どなたでも参加していただける、開かれた組織です。

第一回作業部会開催

去る十二月十四日に、初めての作業部会が開催され、平野区でさまざまな活動をされている方や社会福祉施設・区社協・区役所の職員など、平野区のみならず、平野区に持つ方々が三十一人参加しました。

アクションプランの概要や進行状況、今後の予定などの説明があった後、参加者全員が自己紹介をし、意見交換を行いました。

◎自己紹介では…

- 障害児が地域で普通に暮らせるようにと活動している。
- 15年程前にボランティア活動に目覚めた。とにかく楽しんでやっている。
- 大学で福祉の勉強をしている。理論だけでなく、実際に話を聞いて学びたい。
- 区役所職員。普段は、カウンターの中と外の関係になってしまふ。こういう場で一緒に話がしたい。
- ずっと平野に住んでいる。今年町会の役を受け、これから地元へ何が返せるか、と考えている。
- 外国から来られた方の日本語学習のサポートをしている。

迷惑駐車や不法投棄の対策に取り組んできた。

精神障害の方の支援をしている。常々、地域の方とふれあいたいと考えている。

河内木綿を継承する活動をしている。



新しい発見の連続で、2時間以上にわたる会議もあったという間に。

◎意見交換では…

- 文字が読みにくい人や勤めている人には、情報が入りにくい。区民にもっと知らせる方法を考えなければ。
- 不登校の子どもたちを受け入れる場が、平野区にあるといいなあ。
- 子どもに関する事件が多発する中、安心して子どもと大人がふれあえる場が必要。地域の大人と関わって育てば、大人になっても地域に関心をもつのでは。

このような意見交換を重ね、各自の情報・ネットワークを持ち寄り、面白い作業部会にしていきましょう。そして、平野区を変える原動力になりましょう、と確認しました。

平野区で、それぞれにがんばっている活動をつなげたら…ひとりとひとりができることを持ち寄り…きつと素敵なまちになる

ひらの介護の達人フェスタ

日時：平成17年3月26日(土)
午後12時30分～3時30分
場所：平野区民センター(コミュニティプラザ平野)
内容：① 介護保険で利用できるサービスの紹介(ミニ講習会もあります)
② その他の福祉サービスの紹介
③ 福祉機器の展示・体験
④ 喫茶コーナー・フットケアコーナー・メイクアップコーナー等
主催：平野区居宅介護支援事業者連絡会
お問い合わせ：平野区社会福祉協議会
☎6795-2525

病気は誰でもかかるもの。心の病気も身体の病気と同じく早目にケアすることが大切です。心がストレスで疲れて、不眠や食欲不振になったり…。今回は、身近な“うつ病”について、考えてみましょう。

心のほかほか講座(啓発講座)

「病気のことを知ろう ～うつについて～」

日時：平成17年3月24日(木) 午後2時～4時
場所：平野区保健福祉センター 3階 会議室
講師：新阿武山クリニック 医師 姫井 昭男 氏
定員：80名
申し込み：電話にて、3月15日(火)までに、下記へお申し込みください。
平野区保健福祉センター地域活動係(TEL4302-9968)
【受付日時：月～金 午前9時～午後5時】

平野区発

家族介護者癒しの旅路

～家族介護者支援の取り組み～

家族介護者リフレッシュ事業

年1回、ご家庭で要介護1以上の高齢者の介護にあたっている方を対象に、日頃の介護疲れを癒し、心身のリフレッシュをしていただくことを目的として行なっています。

にこにこ会(家族介護者のつどい)

丹波・篠山紅葉めぐり in 高源寺・岩滝寺

癒しの道のり

にこにこ会では十一月二十日(土)、観光バスを利用して丹波・篠山への日帰り旅行に行きました。当日はお天気にも恵まれ、秋晴れのすがすがしいなか、真っ赤な紅葉にまつまれた高源寺を散策。ところかわって岩滝寺では樹木と紅葉からみながる森林浴と滝からしっとり湧き出るマイナスイオンを全身で吸収、心身ともに癒された後は、お待ちかねの黒豆・松茸など、丹波の山里の幸を使ったボリューム満点の会席料理に舌鼓。



晴天に恵まれ楽しく散策できました。

最後に、お菓子の里丹波へ立ち寄り両手一杯にお土産を買って帰路へ、今日一日の思い出をのせたバスは交通渋滞で遅くなりしましたが無事平野区に到着。

わかり合える仲間がいる

お腹一杯で望んだ懇親会では、各テーブル毎に分かれ、日頃の介護での

悩みや、苦勞を語り合い、また分かち合って思うままにおしゃべり三昧。『悩んでいるのは自分だけではないのだ』と安心される方、『同じ辛さを体験しているのだ』と共感される方、『自分はまだ楽なほうだ』と自分を慰める方、『本当はもっと優しく接したいんだ』と涙される方、もう十年以上も介護されている方の中には『介護のあいまをぬって楽しみを見つけてそれに打ち込んでいます』という方もいました。介護者同士が日頃の悩みを言葉に出して語る事で互いに癒され、明日からの介護に少しでもゆとりを感じていただけたでしょうか。

平野区単独での開催

昨年度までは、他区と共同で開催していましたが、今回は平野区だけの単独開催とあって、この日にたどりつくまでスタッフ一同検討をかさね、参加者の方々にリフレッシュしていただく事をひたすら追求してやっと開催することができました。おかげさまで当日三十六名の参加があり開放感でいっぱい満員バスは平野区を出発しました。今回の旅行で得たご意見や要望を参考に、今後にも要介護者への支援はもとより、家族介護者に向けての支援へも取り組んでいきます。

おもちゃ図書館 “にこにこ”

お母さんの声

●親子で成長

今までは、ハンディを持っていないために、公園でのびのびと自由遊ぶことができなかったり、お友達と遊ぶのが苦手な子ども達と遊ぶの兄弟姉妹が、たくさんのおもちゃの中で、自由にのびのびと遊べる場所です。また、そんな子ども達のお父さんやお母さんがお友達を作ったり、情報交換したり、そんなふうに一息つける場所として、平成十年に、にこにこセンターで開始しました。毎月二回の開館時には、十人から三十人くらい親子と数名のボランティアが、のんびりと楽しく過ごしています。



●ボランティアの笑顔

同じ年頃の子どもと遊ぶのも苦手だった子が、“にこにこ”に来て、ボランティアさんに笑顔で声をかけてもらい遊んでもらっているうちに、他の子ども達とも打ち解けて遊ぶようになりました。

“にこにこ”に来て、親子ともに成長することができたように思います。

●お母さんへ

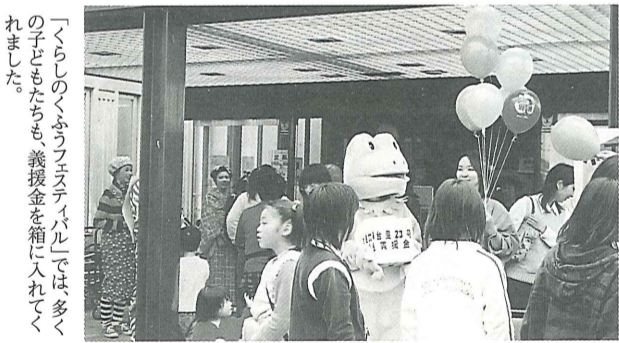
親も子どもも、のびのびと過ごせるので、毎回楽しみにしています。

「災害支援義援金」へのご協力ありがとうございました!

10月31日開催の『くらしのくふうフェスティバル』において、「兵庫県台風21号・23号被害」義援金と「新潟県中越地震災害」義援金の募金箱を設置し、来場者にご協力を呼びかけました。次のとおり、ご支援いただき、それぞれの共同募金会に振込みました。

皆様のご支援・ご協力ありがとうございました。

義援金の名称	金額	振込み先
「兵庫県台風21号・23号被害」義援金	17,777円	社会福祉法人 兵庫県共同募金会
「新潟県中越地震災害」義援金	36,839円	社会福祉法人 新潟県共同募金会



「くらしのくふうフェスティバル」では多くの子どもたちも、義援金を箱に入れてくれました。

ご寄付ありがとうございます。



平成十六年八月から十一月までの間に、次の方々と、平野区社協善意銀行への預託をいただきました。皆様のお気持ちに感謝いたしますとともに、区内の福祉充実のために有効に活用させていただきます。

◆善意銀行への預託◆
《金銭預託》橋口頼道、渡邊美穂子、平野区小売市場連合会、くらしのくふうフェスティバル喫茶コーナー収益金
(順不同、敬称略)

だれかのために、できること。

ただ今、新潟県中越地震災害義援金を受け付けております。

《取り扱い方法》
【郵便振替口座】名 義 日本赤十字社新潟県支部
口座番号 00530-2-2000
国際活動、災害救護活動、医療事業、看護師養成、血液事業、救急法・家庭看護法等の講習、赤十字奉仕団、青少年赤十字、社会福祉事業
【募集期限】平成17年10月24日
※郵便局窓口での取り扱いの場合、振替手数料は免除されます。

日本赤十字社大阪府支部平野地区

開館日⇒毎月第2・4土曜日
午前10時30分から午後2時
場所・お問い合わせ

⇒ にこにこセンター
(平野東2-1-30)
☎6795-2525



子ども達と一緒に遊んだり、行事を企画したりしていただけるボランティアも募集しています。

“にこにこ”は、好きな時間に来て好きな時間に帰れる自由な場所です。また、季節に応じて様々な行事も行っています。育児等の専門家はいませんが、一緒に楽しいひとときを過ごしませんか。

◆活動を始めたきっかけ：

高校生時代にクラブの仲間と一緒に障害者の運動会にボランティアで参加しました。とても楽しかったので、これからも活動を続けようと思ったんです。

◆活動をする中で得たこと：

ボランティア活動は僕にとって新しい出会いの場です。仕事では出会えない幅広い年代の方と話をすると、すごく新鮮です。

◆活動する中で悩んだこと：

活動先に行ったときに、ボランティアの役割がはっきりわからず、何をしたいのかわからなかったこと。

◆ボランティア活動を色で例えると？

白色。どんな色とも混ざり合えるため。



長谷川 伸二さん

平日は、仕事が忙しく、活動は休日に。作業所のバザーやイベントのお手伝い、頸椎損傷者会の会報発送作業なども行い、いろんな方に出会える楽しさを感じている。

最初の第一歩が大事。まずは、やってみる。あかんかったら、何であかんのか考える。しんどかったら、やめて、自分に合う活動を探してみる。まずは、気軽に参加できるものを探してみようか？ 私は、ボランティアビューローで情報を得たり、駅などにおいてある「COMVO」やポスターなどをみて活動を探しています。普段は働いているので、休みの日で都合のつく日の活動を探しています。



柏田 賢一郎さん(72)

仕事をやめてすぐに、広報誌でボランティア講座を知り、受講した。現在は、おもちゃ図書館で子ども達と遊んだり、障害者作業所のメンバー達と一緒にボールで楽しく活動している。

自分の好きから始めてみませんか？

子どもと関わるのが大好きで、今の活動をしています。出会う親子や作業所の人たちに元気や笑顔をもたらしています。僕は、体を動かすのが好きだから今の活動を選んでいます。ボランティア活動もいろんな種類があります。今行っている作業所でもパソコンを教える活動、付き添いをする活動もあります。皆さんも興味のある活動から始めてみてはどうでしょうか？

◆ボランティア活動を色で例えると？

無色透明。いろんな色に染められるから。臨機応変に！

◆活動をする中で得たこと：

様々な人から元気がもらえる。また、その出会いからボランティア活動に責任を持って関わられるようになり、やりがい・生きがいにつながっています。

◆活動する中で悩んだこと：

年齢が離れた世代と関わる時は、話を合わせられるように気を使う。子ども達がケンカをした時。

◆ボランティア活動を色で例えると？

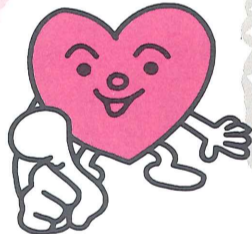
岡本さん：黄色。暖かい感じ。
木下さん：赤と白。やさしさの中に、厳しさもある。

◆活動する中で…

おもちゃ図書館で子どもが話してきたら、聞いてあげたり、その子どもが好きなおもちゃを持ってきて、楽しく遊んでいます。子ども達がケンカして泣いた時など、どうしていいかわからない事もあるけれど、子ども達がだんだんと成長する姿をお母さんと一緒に見守っています。子どもと遊んでいる時、募金が集まった時、活動で大学生など他の年代の人と話す時。そこでいろんな楽しさを感じています。

最初の第一歩。まずは、やってみる

子育てをしながら、働きながら、定年を迎えて…。いくつになっても、自分の住む地域で生きがいを持つことは大切です。平野区ボランティアビューローでは、個人やグループで趣味や特技を生かして自分らしく活動しているボランティアがたくさんいます。今回は、その中のボランティアたちに、活動の魅力などを語っていただきました。



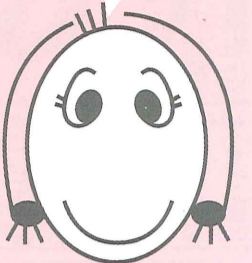
自分らしく“ボランティア活動”

自分ができない活動を我慢してするのは、しんどくなります。嫌なことは嫌、できないことはできないって断る勇気も必要です。ボランティアを依頼する側も、ボランティア自身が楽しく活動をしていると、変に気を使わなくなってくるのがわかります。

いろんな意見もあるけれど、年齢に関係なく、友達感覚でお付き合いできる関係がとっても心地よい関係だと思っています。

とっても心地よい関係づくりを

いろいろなことに興味があり、子育て支援、精神保健ボランティアグループに参加している。子どもにできるだけ経験をさせようと、小さい頃から親子一緒に活動に参加している。



井上 たまごさん(30代)

◆ボランティア活動を色で例えると？

レインボー(虹)色。「さー、やるぞ!」「あれもこれもほしい」っていろんなことを考えながらするから。

◆活動を始めたきっかけ：

子どもが2歳の時に子どもをつれて出かける場所がほとんどなく、いろいろな場所で断られました。ボランティアビューローの講座で受け入れてくれたのではじめました。

◆活動をする中で得たこと：

いろんな方と出会い、活動の幅が広がりました。

◆活動する中で悩んだこと：

ボランティア活動の助成金申請書の書き方。

◆ボランティア活動を色で例えると？

バラ色。楽しくてしかたないから。



岡 喜美子さん(64)

施設などでの園芸や喫茶活動、作業所のイベントのお手伝い、一人暮らし高齢者への昼食配達といった活動をしている。自分の健康のためにと、毎日、自転車で走り回っている。

待っていてくれる顔が楽しい!

きっかけがあったから踏み出せました!



岡本 有美さん(16) 木下 奈帆さん(16)

小学校からの幼なじみの2人。ボランティア部に入部し、土曜日を中心に活動中。笑顔の素敵な2人です。おもちゃ図書館で大活躍。

やりたいけど、なかなか一歩を踏み出せない。きっかけがないから、活動に結びつかないことって多いです。でも、ボランティア部があったので、仲間と一緒にいろんな活動ができます。子どもと遊ぶ、切手収集、募金活動、献血活動など学生にもできるボランティアってたくさんあるのがわかりました。1人だと気恥ずかしいと思ってたけど、今なら積極的に行動できますね。この間は、授業中に3分スピーチがあり、ボランティア部の紹介と勧誘をしました。メンバーが増えたらいいな。

◆活動を始めたきっかけ：

岡本さん：子どもと関わるのが好きだから。
木下さん：岡本さんに誘われて。おもしろそうだから。

活動する事で、友達も増え、世間が広くなりました。ボランティア先でも、待っていてくれる方や、楽しみにしててくれる人がいるのでうれしくて続ける事ができます。

ぜひ、皆さんも、何かボランティア活動を始めてみてはどうでしょうか? 得手、不得手を見極めて、自分のできることだけをすればいいんです。

◆活動を始めたきっかけ：

仕事をやめて、「何か自分にできることはないか」と探していました。職業安定所→区役所→最後にボランティアビューローにたどりつきました。そこでボランティア活動を見つけ、弁当配達の活動を始めました。活動する中で、たくさんの仲間と出会い、活動も広がりました。

◆活動する中で悩んだこと：

ずっと関わっていたお弁当配達先のお年寄りが亡くなったり、体調を崩した時。また、話し相手をしてきた時の内容を、どこまで施設の人に報告するのか?



夏祭りの風景

進員さんや地区の役員さ
位置してはいます。
地域住民の方は、
ネットワーク推

目標は普段から
気軽に立ち寄れるステーション!!

が、ホーム独自に昨年
から始めた地域の方々に
参加して頂いた「夏祭」
や、地域のボランティア
の方々に「一芸」を披露
して頂いたり、近隣の保
育園・園児さんの友愛訪
問などの活躍の場として、
地域の皆様と交流の機会
を積極的に持たせて頂い

たが、ホーム独自の昨年
から始めた地域の方々に
参加して頂いた「夏祭」
や、地域のボランティア
の方々に「一芸」を披露
して頂いたり、近隣の保
育園・園児さんの友愛訪
問などの活躍の場として、
地域の皆様と交流の機会
を積極的に持たせて頂い

たが、ホーム独自の昨年
から始めた地域の方々に
参加して頂いた「夏祭」
や、地域のボランティア
の方々に「一芸」を披露
して頂いたり、近隣の保
育園・園児さんの友愛訪
問などの活躍の場として、
地域の皆様と交流の機会
を積極的に持たせて頂い

センターの中には、区

センターの中には、区

センターの中には、区

地元 平野北地域の
在宅介護支援センター

社会福祉協議
会の事務局は
もちろんの事、
ボランティア
の調整や支援
を行うボラン
ティアビュー
ローやケアマ
ネジャーの在
り、これからの地域から頼
りになる支援センター
を目指して頑張ってい
たいと思います。

社会福祉協議
会の事務局は
もちろんの事、
ボランティア
の調整や支援
を行うボラン
ティアビュー
ローやケアマ
ネジャーの在
り、これからの地域から頼
りになる支援センター
を目指して頑張ってい
たいと思います。

社会福祉協議
会の事務局は
もちろんの事、
ボランティア
の調整や支援
を行うボラン
ティアビュー
ローやケアマ
ネジャーの在
り、これからの地域から頼
りになる支援センター
を目指して頑張ってい
たいと思います。

平野区の高齢者・家族・地域の暮らしの相談窓口 在宅介護支援センター

場所	電話	場所	電話
平野区在宅サービスセンター (にここセンター)	6795-2525	喜連東地域在宅サービスステーション (博寿荘)	6700-2060
加美北地域在宅サービスステーション	4303-7700	長吉西地域在宅サービスステーション	6769-0001
加美地域在宅サービスステーション (愛和)	6796-3520	長吉六反地域在宅サービスステーション	6702-4466
平野地域在宅サービスステーション	6797-0032	長吉地域在宅サービスステーション	6790-0007
喜連西地域在宅サービスステーション	6797-2011	瓜破西地域在宅サービスステーション (てんそう苑)	6703-9712
喜連地域在宅サービスステーション	6790-6666	瓜破地域在宅サービスステーション	6760-5070

【高齢者のための生活福祉講座】

一人暮らしや高齢者世帯の方を対象に、生活情報や福祉情報について学習します。
【内容】①3/9 (水) 「マイケアプランって何だろう」
②3/16 (水) 「財産管理サービスについて」
「老人福祉センターの事業について」
③3/24 (水) 「介護保険の改正と最近の老人福祉動向」
【時間】 いずれも午後1時30分～午後3時
【場所】 ①②は平野西会館 (平野本町1-10-12 ☎6796-4678)
③は平野区老人福祉センター (加美駅前1-2-26)
【定員】 30名程度
【主催】 平野区老人福祉センター 平野区社会福祉協議会
【申し込み方法】
電話で平野区老人福祉センターへ ☎6793-0880

喜連東地域在宅サービスステーション

電話六七〇〇二〇六〇



「相談してよかった!」と
思ってもらえるように。

「相談してよかった!」
と皆様に安心、信頼して
いただけるステーション
を目指し、努力邁進いた
します。今後ともよろし
くお願いいたします。



相談員の東岡氏と有本氏

「居宅介護支援サ
ビス」「デイサービ
ス」「ホームヘルプ
サービス」の在宅介
護サービスも提供し
ておりますので、多く
の皆様にご利用いただ
けたいと思います。

「相談してよかった!」
と皆様に安心、信頼して
いただけるステーション
を目指し、努力邁進いた
します。今後ともよろし
くお願いいたします。



電話六七〇〇二〇六〇

喜連東地域在宅サービスステーション

喜連東地域在宅サ
ビスステーションは、平野
区の中心より少し南に位
置する喜連二丁目の特別
養護老人ホーム喜連
連内にあり、地下鉄谷町
線がすぐ近くを走り、比
較的にどこへ行くにも
恵まれた場所に位置して
います。
地域住民の方は、ネット
ワーク推進員さんや地区
の役員さんや地区の役員
さんや地区の役員さん

在宅介護支援センター
だより



在宅介護支援センター

高齢者・家族・地域の暮らしの相談窓口

在宅介護支援センターは、地域在宅サービスステーションに設
置され、高齢者やそのご家族・地域の悩みを解決し、より良い在宅
生活の実現を目指して活動しています。

今回は、二ヶ所の地域在宅サービスステーションと区在宅サ
ビスセンターをご紹介します。

喜連東地域在宅サ
ビスステーションは、平野
区の中心より少し南に位
置する喜連二丁目の特別
養護老人ホーム喜連
連内にあり、地下鉄谷町
線がすぐ近くを走り、比
較的にどこへ行くにも
恵まれた場所に位置して
います。
地域住民の方は、ネット
ワーク推進員さんや地区
の役員さんや地区の役員
さんや地区の役員さん

喜連東地域在宅サ
ビスステーションは、平野
区の中心より少し南に位
置する喜連二丁目の特別
養護老人ホーム喜連
連内にあり、地下鉄谷町
線がすぐ近くを走り、比
較的にどこへ行くにも
恵まれた場所に位置して
います。
地域住民の方は、ネット
ワーク推進員さんや地区
の役員さんや地区の役員
さんや地区の役員さん

喜連東地域在宅サ
ビスステーションは、平野
区の中心より少し南に位
置する喜連二丁目の特別
養護老人ホーム喜連
連内にあり、地下鉄谷町
線がすぐ近くを走り、比
較的にどこへ行くにも
恵まれた場所に位置して
います。
地域住民の方は、ネット
ワーク推進員さんや地区
の役員さんや地区の役員
さんや地区の役員さん

喜連東地域在宅サ
ビスステーションは、平野
区の中心より少し南に位
置する喜連二丁目の特別
養護老人ホーム喜連
連内にあり、地下鉄谷町
線がすぐ近くを走り、比
較的にどこへ行くにも
恵まれた場所に位置して
います。
地域住民の方は、ネット
ワーク推進員さんや地区
の役員さんや地区の役員
さんや地区の役員さん

喜連東地域在宅サ
ビスステーションは、平野
区の中心より少し南に位
置する喜連二丁目の特別
養護老人ホーム喜連
連内にあり、地下鉄谷町
線がすぐ近くを走り、比
較的にどこへ行くにも
恵まれた場所に位置して
います。
地域住民の方は、ネット
ワーク推進員さんや地区
の役員さんや地区の役員
さんや地区の役員さん